

周南市美術博物館
開館30周年記念

写真展 オードリー・ヘプバーン

18歳以下
無料

AUDREY HEPBURN

2025 8.31 SUN まで開催中 9:30～17:00 (入館は16:30まで)

観覧料 一般:1,200円(1,000円) 大学生:1,000円(800円) 月曜休館 *ただし7月21日(月・祝)開館、翌22日(火)休館

*()内は前売および20名以上の団体

*身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳等をご持参の方とその介護の方は無料

*本展をご鑑賞の際は、常設展も無料でご覧いただけます

8月11日(月・祝)開館、翌12日(火)休館

オードリー・ヘプバーン(1929～1993)は、ベルギーで生まれました。幼い頃、ロンドンの寄宿学校に入学しますが、やがて両親は離婚。1939年に第二次世界大戦が勃発すると、母の故郷のオランダで暮らすことになりました。ドイツへの強制連行や爆撃、略奪などが行われる過酷な状況のなか、オードリーは心の支えであったバレエに打ち込みますが、食べる物が十分になく、飢えに苦しみました。終戦を迎え、連合国救済復興機関(UNRRA)の援助によって救われます。

バレリーナを目指すオードリーは、ロンドンの著名なバレエ教師、マリー・ランバートのバレエ団のバレエ・スクールに入学することができました。夢を叶えるため、過酷なレッスンにも耐え、努力します。しかし、オードリーの身長が高すぎたため、プリマ・バレリーナになる夢は断念せざるを得ませんでした。

その後、ミュージカルや映画への出演を重ねていたなかで、作家シドニー・ガブリエル・コレットに見いだされ、ブロードウェイ・ミュージカル「ジジ」の主演に抜擢されます。さらに映画「ローマの休日」のスクリーンテストに合格。ハリウッドデビュー作でアカデミー賞主演女優賞を受賞します。

一躍スターとなったオードリーですが、おごることなく謙虚に仕事を重ね、「ティファニーで朝食を」「マイ・フェア・レディ」など数々の名作に出演しました。

また、彼女のファッションも大きな反響を呼びました。オードリーは、出演作のコスチュームの提案を行うなど、衣装選びにも積極的に関わっています。オードリーは「自分を客観的に見るのが大切。弱点は隠そうとせず、正面から向き合って、ほかの長所を伸ばせばいいのよ」と語っています。例えば、映画「麗しのサブリナ」で身につけたパンツはサブリナパンツと呼ばれ、黒のトップス、フラットシューズを合わせた姿はサブリナファッションとして大流行しました。それは、服や靴がおしゃれだったからだけではなく、彼女のすらりと長い脚を活かすパンツ、高身長が目立ちすぎない厚さやヒールのない靴——誰かのまねではなく、自分自身に似合うファッションを選び、身につけたからこそ魅力的に映ったのでしょう。



©Mark Shaw



©Bud Fraker



mptvimages.com



1988年、オードリーはユニセフ特別親善大使に任命されます。かつて自身が援助を受け、感謝の気持ちを持ち続けていた联合国救済復興機関はユニセフの前身でした。数多くの国々を訪れ、飢えた子どもたちに会いにいきました。さらに、チャリティーコンサートに出演したり、自ら学び目にしたことを報道してもらうため行く先々で記者会見を開いたりするなど、精力的に活動します。その姿は、多くの人々の心を動かししました。

1993年、63歳でスイスの自宅にて永眠。没後、30年以上が経った今もなお、流行に左右されず自分らしく生きた彼女の魅力は色あせることなく、多くの人々に愛され続けています。

本展では、オードリーのデビューから黄金期を追い続けたふたりの写真家の作品を中心に、ハリウッドで活躍した写真家たちの作品を展示しています。

ひとりは、「ライフ」などの雑誌やファッション、広告の分野で活躍したマーク・ショウ(1921～1969)。オードリーは彼のプロフェッショナルな姿勢に敬意を示し、数週間にわたる「ライフ」の取材に協力的だったというエピソードが残っています。

もうひとりは、ハリウッドのカメラマンの助手を経て、120本以上の映画のスチール写真を撮影し続けたボブ・ウィロビー(1927～2009)。オードリーの息子とボブの息子が遊ぶ様子を、オードリーとボブの妻が嬉しそうに見守る写真などから、プライベートでも親しかったことがうかがえます。このふたりだからこそ撮ることのできた、オードリーの魅力的な姿や表情にも注目していただければと思います。

参考文献：『AUDREY HEPBURN オードリー・ヘップバーン』

高山裕美子 編著（株式会社クレヴィス 2017年9月1日発行）

『オードリー・ヘップバーン（上）（下）』

バリー・パリス 著、永井淳 訳（株式会社集英社 1998年5月4日発行）

（周南市美術博物館 学芸員 前山希望）



©Mark Shaw



@Bob Willoughby

カフェ
テラス
まど

展覧会限定メニュー

マイ・フェア・ストロベリー
～いちごミルクスムージー～
500円(税込)

甘酸っぱいフローズストロベリーとまろやかなミルクを混ぜ合わせ、ミックスベリーをそえました。映画「マイ・フェア・レディ」(わが麗しの貴女)をイメージした爽やかなドリンクです。



展覧会限定メニュー

アイスの休日
～ミニアイス～
300円(税込)

オードリー・ヘップバーンが映画「ローマの休日」で頬張っていたジェラートにちなんだメニューです。メープルシロップをかけてサクサクのクレープロールと一緒にどうぞ。



うなぎ
土用の丑の日

ご予約承り中

ローソン徳山動物園前店 0834 32-8363

※画像はイメージです。

美博クイズ～!〈138〉 もんだい

ファッションも注目されたオードリー・ヘップバーン。彼女が映画で着用した○○○○パンツは大流行したよ。○に入る言葉はなんだろう？

ヒント 映画「麗しのサブリナ」で着用したよ。

周南市美術博物館 常設展示

展示室 4 林忠彦記念室

カストリ時代 —復興・戦後混乱期を生きる人々— 9/30(火)まで

戦後80年にちなんだ「カストリ時代」シリーズより、復興・引揚げの様子や戦後の混乱期を生きる人々の姿を捉えた作品を中心に展示しています。

戦時中、東京と北京を往復していた林は、北京で終戦を迎えました。カメラも手放すほかないような状況でしたが、昭和21(1946)年春に引き上げることができました。故郷徳山に帰ると生家は空襲に遭って焼け落ち、家族は疎開していました。家族の無事確かめたのち、上京します。カメラを2台借り、友人と組んで仕事を再開し、戦後焼け野原から復興する東京の様子や人々の姿を撮影していきました。



「復興、品川駅頭の別れ」1946年 撮影 林忠彦

展示室 5 まど・みちおコーナー

今回の内容の展示は 9/30(火)まで

7月1日は「童謡の日」です。
1918(大正7)年に児童文芸誌「赤い鳥」が創刊されたことに由来しています。

まどさんは、「ぞうさん」をはじめ、多くの童謡を作詞していますが、一番最初にレコードとして発売されたのは「ふたあつ」です。1936(昭和11)年のことで、雑誌「桑の実」に投稿した詩に、まどさんも知らないうちに曲がつき、キングレコードから発売されました。(作曲：山口保治、歌：高橋旭子)



徳山の歴史 特設コーナー

「徳山空襲と戦後の復興」 8/31(日)まで

戦後80年を迎え、徳山空襲と戦後の復興のあゆみを写真などから振り返ります。

こちらから展示内容の紹介をご覧いただけます。
びびびの美(2025年5月後半号)



【第23回 周南市美術展2025】作品募集

美術展に出品してみませんか? 平面・立体・書・写真の作品を募集します!

事前申し込みが必要です。作品の搬入・搬出が日時指定となります。

●申込期間 7月1日(火)~8月29日(金) 必着 事前申込

●開催要項の配布場所

市役所本庁舎、各総合支所、各市民センター、
学び・交流プラザ、新南陽ふれあいセンター、文化会館、
美術博物館 等

周南市ホームページからもダウンロードできます

<https://www.city.shunan.lg.jp/soshiki/107/117321.html>

●応募方法 3つの方法があります ※いずれも7月1日(火)受付開始

①ホームページから申し込む

周南市ホームページの「第23回周南市美術展2025」出品申込フォーム
に必要事項を入力して送信してください。※7月1日(火)以降にアクセスできます

②郵送またはFAXで申し込む

開催要項に付属の出品申込書及び応募部門の
データ票を記入し、郵送またはFAXでお送りください。

郵送先/〒745-8655 周南市岐山通1丁目1番地
周南市文化振興課文化振興担当宛

FAX/0834-22-8428(文化振興課)



市ホームページ



出品申込フォーム

③持参する

開催要項に付属の出品申込書及び応募部門のデータ票を記入し、
市役所の文化振興課または周南市美術博物館に持参してください。

※開庁、開館時間内をお願いします。※その他の応募方法については、文化振興課へお電話でご相談ください。

●作品搬入 10月3日(金)・4日(土)

申込期間終了後、指定日時を文書で連絡します。

指定の日時に搬入してください。

●作品搬出 搬出についても日時を指定させていただきます。

●審査会 10月5日(日)に公開審査を行い、入選作品と各賞を決定します。
見学申込の詳細については、第23回周南市美術展2025公開審査会の
見学募集ページ(後日公開予定)に掲載します。

●会期 前期【書・写真】 10月15日(水)~19日(日)

後期【平面・立体】 10月22日(水)~26日(日)

※月曜休館

●問合せ先 文化振興課(文化振興担当) TEL/0834-22-8622

※最新情報は、市と美術博物館のホームページでご確認ください。

※出品資格、応募企画、出品料等詳細は開催要項をご確認ください。

ひばく 美博クイズ~!〈138〉 こたえ

「サブリナ」パンツだよ

はちぶ たけ じょ せい よう
8分丈くらいのスリムなシルエットの女性用パン
ツで、現在でも親しまれているよ。

「ローマの休日」で の オードリー のヘアスタイル
もヘブバーンカットと呼ばれ、大流行したよ。

Music, Drama, Dance, etc.

かるちゃあ通信 花島 に広告を
出しませんか?

発行部数 詳細は、周南市文化会館(tel:0834-22-8787)
毎月8,000部 までお問い合わせください。

ART and HISTORY インフォメーション

周南

周南市美術博物館 ☎0834-22-8880

周南市美術博物館開館30周年記念
写真展「オードリー・ヘプバーン」 ～8/31(日)

周南市郷土美術資料館 ☎0834-62-3119

企画展「郷美のコレクション展」 ～8/24(日)

尾崎正章常設展「あの日の海」 ～8/31(日)

富田東小学校 作品展 ～7/6(日)

富田東幼稚園 作品展 7/9(水)～21(月・祝)

富田幼稚園 作品展 7/24(木)～8/3(日)

防府

毛利博物館 ☎0835-22-0001

企画展「歌詠むお殿さま」 ～7/6(日)

企画展「毛利家のたからもの-その1・漆かがやく
武器・馬具・調度品-」 7/18(金)～9/8(月)

山口

山口県立美術館 ☎083-925-7788

岩合光昭 写真展 PANTANAL 7/10(木)～9/7(日)

萩

山口県立萩美術館・浦上記念館 ☎0838-24-2400

躍動するアジア陶磁
一町田市立博物館所蔵の名品から—
7/12(土)～9/23(火・祝)

萩博物館 ☎0838-25-6447

世界遺産登録10周年記念企画展
「シン・萩の世界遺産」 ～7/6(日)

夏期特別展「絶滅動物展」 7/19(土)～9/21(日)

長門

香月泰男美術館 ☎0837-43-2500

戦後80年 香月泰男 戦争の記憶・(私の)地球
特別展示「香月泰男のシベリヤ・シリーズ」
7/2(水)～9/28(日)

下関

下関市立美術館 ☎083-245-4131

特別展「花の宮廷画家ルドーテ」 ～7/21(月・祝)

所蔵品展No.168
特集 美術館の夏休み～造形あそび～
7/26(土)～8/31(日)

下関市立歴史博物館 ☎083-241-1080

企画展「元清と輝元」 7/4(金)～9/15(月・祝)

～ TOSOH PARK 永源山の中にある美術館～

周南市郷土美術資料館・尾崎正章記念館

- 9時30分～17時(入館は16時30分まで)
- 観覧料: 一般200円(160円) 学生等100円(80円)
()内は20名以上の団体 ※18歳以下および70歳以上無料
- ※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳等をご持参の方とその介護の方は無料
- 休館日: 月曜日

※ただし、7/21は開館、翌7/22は休館



企画展

中・小展示室

郷美のコレクション展

8月24日(日)まで開催中

当館のコレクションの中から、尾崎正章が長年活躍した一水会ゆかりの画家たちの作品を紹介しています。

小川游、寺井力三郎、平野敏子、岩池和代ら4人の画家の個性豊かな作品世界をお楽しみください。



展示風景



展示風景

常設展

大展示室

尾崎正章常設展「あの日の海」

8月31日(日)まで開催中

海の近くで育った尾崎正章(1912-2001)は、瀬戸内の海を数多く描きました。それらは尾崎ならではの青や白の色調で描かれ、どこか懐かしい遠い日を思い起こさせます。画家がみつめたふるさとの海の風景をご覧ください。

展示風景



最新の情報は、当館ホームページでご確認ください。http://s-bunka.jp/kyoubi/



「ええええ、ありがとうございませうのんた」(徳山にはのんた祭りというお祭りがありますね)
方言も時代と共に少しずつ変わっていきますが、たまに昔から使われていた言葉を思い出して使ってみると、何だか懐かしいような、新しいような気もしてきます。
過去の歴史や出来事に思いを馳せるのに、文化芸術も一役買っています。美術博物館では企画展示室でオードリー展、常設展示室では戦後八十年関連の展示もあります。いろいろな表現が伝播して積み重なって暮らしている今、懐かしくて新しいものに触れてみませんか。
(笹川)

ミニコラム
ガス燈

最近方言が気になってきます。きつかけは、職場で使われたある言葉。つづ。山口県民も九州出身者も、分ける派に分らない派に分かれました。
そういえば学生時代に、他県出身の先生が「地方には少しづつ古語が方言として残っている」と言っていました。関西方面から東や西の端に向かって言葉が伝播していき、古い言葉がグラデーションのように端に残っているのだとか。たとえば「早く帰ってほしいときに、早よう往ね」と言うが、往ねるは古語のこと。ちなみにその先生は「山口県で普段優しい人から、早くしてという意味の言葉を言われて、初めは驚いた」と話していました。
祖母が使っていた方言の柔らかさも思い出します。
「ええと柿がもぶり(れ)つく」(たくさん柿が実っているときに使用)